



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 株式会社CKサンエツ

上場取引所 名

コード番号 5757 URL <http://www.cksanetu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 釣谷 宏行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 松井 大輔

TEL 0766-28-0025

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	41,856	17.1	2,110	17.7	2,084	14.1	1,445	△2.5
25年3月期第3四半期	35,744	△15.7	1,793	33.8	1,826	△4.7	1,483	△14.2

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 1,527百万円 (4.4%) 25年3月期第3四半期 1,462百万円 (△5.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	208.43	—
25年3月期第3四半期	222.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	36,504	18,741	48.9	2,556.48
25年3月期	34,351	17,089	47.3	2,397.78

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 17,855百万円 25年3月期 16,246百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
26年3月期	—	6.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	8.1	2,600	1.1	2,600	0.3	1,600	△21.8	236.14

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	8,867,000 株	25年3月期	8,867,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	1,882,765 株	25年3月期	2,091,399 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	6,936,733 株	25年3月期3Q	6,675,923 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクスによる金融緩和の影響で、為替市場での円安と株式市場での株高が定着しました。このため、当社グループの主要原料で国際相場商品である銅の国内建値は、高値のままに推移しました。

このような経済状況のもとで、当社グループ（当社及び連結子会社）は、収益構造の改善に注力しました。具体的には、連結子会社サンエツ金属株式会社が、平成25年6月30日に、日立電線株式会社の連結子会社である日立ケーブルプレジジョン株式会社から、日立市にある同社日立工場のめっき線事業を譲受し、サンエツ金属株式会社が従来から手掛けていた錫リフローめっき線の生産能力を増強するだけでなく、銀めっき線やニッケルめっき線など、各種の高付加価値めっき製品の生産を開始いたしました。

また、連結子会社シーケー金属株式会社は、富山県黒部市にあるJX金属黒部ガルバ株式会社が平成25年9月30日をもって溶融亜鉛めっき事業から撤退することから、同社が保有する溶融亜鉛めっき加工設備ならびに付帯する資産等を譲受することで、同社と合意しました。譲受した設備等は、同年10月1日以降、シーケー金属株式会社の溶融亜鉛めっき工場に移設し、生産能力を増強しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は418億56百万円（前年同四半期比17.1%増加）となり、営業利益は21億10百万円（同17.7%増加）、経常利益は営業外費用に計上した原料相場のリスクヘッジのためのデリバティブ評価損が1億96百万円（前年同四半期はデリバティブ評価損42百万円）あったため、20億84百万円（同14.1%増加）となりました。連結子会社であるシーケー金属株式会社が同社自己株式を取得したことにより、負ののれん発生益を特別利益として1億16百万円（前年同四半期は2億90百万円）計上した結果、四半期純利益は14億45百万円（同2.5%減少）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①伸銅

伸銅事業では、販売量は6万1,084トン（前年同四半期比6.1%増加）となりました。売上高は原料である銅の価格が前年同四半期より相対的に高い水準だったこともあり、351億32百万円（同19.5%増加）となり、セグメント利益は19億15百万円（同11.6%増加）となりました。

②精密部品

精密部品事業では、売上高は30億93百万円（前年同四半期比5.2%増加）となり、セグメント利益は92百万円（前年同四半期はセグメント損失47百万円）となりました。

③配管・鍍金

配管・鍍金事業では、北陸新幹線の駅舎や車両基地などの建設工事において、独自技術である鉛レス・カドミウムレスの環境対応溶融亜鉛鍍金を大量に受注したため、売上高は36億30百万円（前年同四半期比6.3%増加）となりましたが、JX金属黒部ガルバ株式会社が溶融亜鉛めっき事業から撤退したことに伴い、同社が保有する溶融亜鉛めっき加工設備ならびに付帯する資産等を譲受したことなどにより、一時的に移設経費等が増加したこともあり、セグメント利益は3百万円（同92.5%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は264億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億42百万円増加いたしました。これは主に現預金が9億76百万円減少したものの、売掛金、受取手形など売掛債権が19億45百万円増加したこと、棚卸資産が808百万円増加したことなどによるものです。固定資産は100億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億10百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が7億48百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、365億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億52百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は153億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億45百万円増加いたしました。これは主に設備支払手形が6億48百万円増加したことによるものであります。固定負債は24億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億44百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が2億31百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、177億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は187億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億51百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益14億45百万円などによるものであります。

この結果、自己資本比率は48.9%（前連結会計年度末は47.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、伸銅事業の販売量がほぼ計画通りに推移しており、また原料の銅相場も比較的安定して推移していることから、平成25年5月15日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,662	685
受取手形及び売掛金	13,931	15,877
商品及び製品	3,620	3,721
仕掛品	2,739	3,036
原材料及び貯蔵品	2,210	2,620
繰延税金資産	286	305
その他	569	219
貸倒引当金	△27	△31
流動資産合計	24,993	26,436
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,175	6,321
減価償却累計額	△3,412	△3,583
建物及び構築物（純額）	2,762	2,737
機械装置及び運搬具	13,829	14,197
減価償却累計額	△12,479	△12,978
機械装置及び運搬具（純額）	1,349	1,218
土地	4,003	4,089
建設仮勘定	46	829
その他	733	794
減価償却累計額	△660	△686
その他（純額）	73	107
有形固定資産合計	8,235	8,983
無形固定資産		
その他	56	79
無形固定資産合計	56	79
投資その他の資産		
投資有価証券	726	700
前払年金費用	174	152
その他	202	191
貸倒引当金	△37	△39
投資その他の資産合計	1,065	1,005
固定資産合計	9,357	10,068
資産合計	34,351	36,504

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,336	3,800
短期借入金	8,790	8,800
1年内返済予定の長期借入金	200	200
未払金	87	134
未払費用	460	539
未払法人税等	970	485
賞与引当金	456	260
設備関係支払手形	124	773
その他	164	343
流動負債合計	14,590	15,336
固定負債		
長期借入金	1,125	893
繰延税金負債	408	302
再評価に係る繰延税金負債	326	326
退職給付引当金	582	670
引当金	209	214
その他	19	18
固定負債合計	2,671	2,426
負債合計	17,262	17,763
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,756	2,756
資本剰余金	2,701	2,793
利益剰余金	11,612	12,974
自己株式	△1,418	△1,271
株主資本合計	15,651	17,253
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31	13
土地再評価差額金	519	519
為替換算調整勘定	43	67
その他の包括利益累計額合計	594	601
少数株主持分	842	886
純資産合計	17,089	18,741
負債純資産合計	34,351	36,504

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	35,744	41,856
売上原価	31,888	37,557
売上総利益	3,855	4,298
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	568	601
給料及び手当	500	501
その他	994	1,085
販売費及び一般管理費合計	2,062	2,188
営業利益	1,793	2,110
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	13	4
受取地代家賃	43	66
為替差益	—	36
その他	112	117
営業外収益合計	171	226
営業外費用		
支払利息	37	28
為替差損	5	—
デリバティブ評価損	42	196
その他	52	27
営業外費用合計	137	252
経常利益	1,826	2,084
特別利益		
固定資産売却益	0	1
負ののれん発生益	290	116
投資有価証券売却益	13	61
補助金収入	139	67
その他	15	0
特別利益合計	460	247
特別損失		
固定資産売却損	—	2
固定資産除却損	10	0
特別損失合計	10	2
税金等調整前四半期純利益	2,276	2,330
法人税等	733	809
少数株主損益調整前四半期純利益	1,543	1,520
少数株主利益	60	74
四半期純利益	1,483	1,445

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,543	1,520
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△79	△17
為替換算調整勘定	△0	24
その他の包括利益合計	△80	6
四半期包括利益	1,462	1,527
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,402	1,452
少数株主に係る四半期包括利益	60	74

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	伸銅	精密部品	配管・鍍金	合計
売上高				
外部顧客への売上高	29,388	2,939	3,415	35,744
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,768	1,058	0	3,828
計	32,157	3,998	3,416	39,572
セグメント利益又は損失(△)	1,716	△47	48	1,716

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,716
セグメント間取引消去	259
全社費用	△183
四半期連結損益計算書の営業利益	1,793

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当社の連結子会社であるシーケー金属株式会社が、同社の自己株式を取得した結果、「配管・鍍金」セグメントにおいて負ののれんが発生しております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては290百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	伸銅	精密部品	配管・鍍金	合計
売上高				
外部顧客への売上高	35,132	3,093	3,630	41,856
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,830	252	0	3,083
計	37,962	3,346	3,630	44,939
セグメント利益	1,915	92	3	2,011

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	2,011
セグメント間取引消去	258
全社費用	△159
四半期連結損益計算書の営業利益	2,110

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（重要な負ののれん発生益）

当社の連結子会社であるシーケー金属株式会社が、同社の自己株式を取得した結果、「配管・鍍金」セグメントにおいて負ののれんが発生しております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては116百万円であります。